

5G通信

Vol.32



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

“世界的5G都市”化を狙う東京

東京都が5G都市として世界に存在感を示すため、通信インフラ整備戦略を制定しました

東京都が現局面を“重要な転換点”として5G推進のための施策を発表

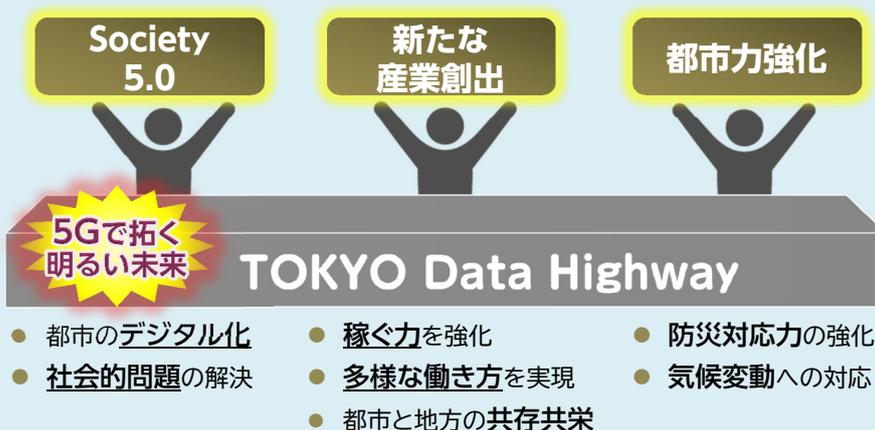
- 東京都は2019年8月29日、民間企業などと連携して5G(第5世代移動通信システム)を推進する基本戦略「TOKYO Data Highway」構想を発表しました。これは、東京都が21世紀の基幹インフラとして世界最速のモバイルインターネット網「5G」の早期敷設に積極的に取り組むことを明示したものです。
- この中でグローバル化とデジタル化が進み、東京五輪を来年に控え今後訪日外国人の増加が見込まれる中で、東京が国際的評価を獲得し更なる成長を遂げるには「電波の道」が必要であり、これを劇的に進化をさせるのが「5G」だとしています。



「TOKYO Data Highway」構想が掲げる東京の未来

- 東京都が長期戦略で5Gに注力する背景に、国際的な都市間競争への危機感があるといわれています。上海やシンガポールなどアジアの新興都市は最先端の通信インフラ技術を既に取り入れている一方で、東京都は道路など過去のインフラ設備のメンテナンスに注力せねばならず、通信インフラやIT活用が十分ではありませんでした。
- そこで5Gの早期構築を実現するため、副知事に知見のある民間人を登用するなど民間と行政が連携して対応を加速させています。具体的には、①アンテナ基地局設置のため、都が保有する資産(建物、信号機、橋梁、交通機関など)を開放し利用手続きを簡素化(窓口の一本化)、②潜在ニーズの高いエリア(五輪会場、西新宿など)を設定、5Gアンテナを重点整備、③5G施策の展開(通信事業者等と東京都が連携する仕組みを構築等)を実施することを示しました。
- 東京都が最先端のモバイルネットワーク環境の実現を目指すことで、世界中から挑戦者が集まる“スマートシティ”、誰もがテクノロジーの恩恵が受けられる“ダイバーシティ”、災害などにも強い“セーフシティ”にすることを現実させ、この取組を日本全国へ多角的に展開していくとしています。

東京の未来を支える3つの基盤



東京都の取組を多角的に展開



※イラスト、写真はイメージです。(出所)東京都「TOKYO Data Highway基本戦略～UPDATE TOKYO～」



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。